

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	(第 109 回 日本消化器病学会総会) 大腸粘液癌の臨床病理学的検討
研究責任者 (所属名)	黨 和夫 (消化器外科部長)
本研究の目的	大腸粘液癌は、細胞外に多量の粘液を産生し粘液結節を形成する癌で、大腸癌の2.7%~6.9%を占め、占拠部位は右側結腸に多いとされる。 予後は不良な疾患とする報告が多いが、通常の分化型大腸癌と同等との報告もあり、一定の見解が得られていません。 当院での大腸粘液癌症例の臨床病理学的特徴を検証することは、その特徴を明らかにするうえで重要と考えられます。
調査データの該当期間	2015年4月から2021年12月の6年9カ月間
研究の方法 (使用する試料等)	上記期間中に当科で経験した大腸粘液癌は13例(2.8%)に認められた。粘液癌13例と、同時期に手術を施行した分化型腺癌症例429例(分化型腺癌群)の2群間で、各種臨床病理学的パラメータ(腫瘍の局在、肉眼型、手術時間、pStage、再発の有無、他)を比較検討しました。また、粘液癌が予後に与える影響も検討しました。
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120 (病院代表) 担当者：管理課長
備考	